

「自由に使える税に関する作文」使用条件

① 学校提出用に関り著作権フリーとする。そのまま使ってもいいし、手を加えるのも可とする。

② パクリ・コピーがばれた場合、また、この作文を使用して何らかの問題が発生した場合、すべて自己責任（悪いのは自分）とし、センセイに思いっきりしかられること。

③ パクリ・コピーがばれるか不安ならば、使用しないこと。もしくは適当に手を加えて、オリジナル風に仕上げて提出すること。

④ 他のホームページに転載しないこと。

⑤ 他のホームページから直リンクしないこと

⑥ 「税に関する作文」から解放された時間で夏休みのすてきな思い出を作ること。

<http://www.coda-homes.com/tax-composition-free/index.html>

か。父はこの病院のことをいろいろ話してくれました。祖父が住んでいるような農村は人口が少ないから設備の整っている民間の病院がや脳の病気の人が多くなること、一つ一つ説明をしてくれました。父は「田舎だから少しくらい不便なのは仕方がないよ。でも、設備の整った病院がない。人の命が失われてはならないんだ。」そうも話してくれました。「将来、税金が高くなる」との報道を見聞きすると『やれやれ』と感じたが、祖父が助かったのも、税金で作られた病院が近くにあったからと思うと、納税について考え直さないといけないな」と、父は言いました。

祖父の入院をきっかけに、ぼくも税金について考えてみました。

もし、みんなが「税金を払うのをいやだ」「もっと安くしてほしい」と言ったら、祖父

が治療を受けた県立の病院はできなかつたで
しょう。遠くの病院に運ばれる間に、最悪の
事態になっていたかもしれない。病院がで
きる前に祖父と同じ病気になった人の中には
大きな病院に着くまでに亡くなった人もいた
かもしれない。みんなからお金を少しずつ集めて、この病
院はできました。一人一人の力が合わさって、
一人の命を救いました。ぼくの父やお母さん
が納めた税金で作られた病院で、知らないだ
れかの命が助けられているかもしれない。
会ったこともない人たちが一緒になって社会
を支え合う仕組み、それが税金なのだとか
りました。

税金についてまだまだ知らないことがたく
さんあります。でも、今回のことをきっかけ
にもっと税金について勉強したいと思いまし
た。そして大人になったら、みんなが助け合
う社会の一員としてきちんと税金を納める人
間になろうと思います。